



津山圏域クリーンセンター環境学習

持続可能な社会の構築に向けた“人”の育成をめざして

廃棄物、地球温暖化をはじめ、地球環境問題は複雑かつ多様性を増しています。

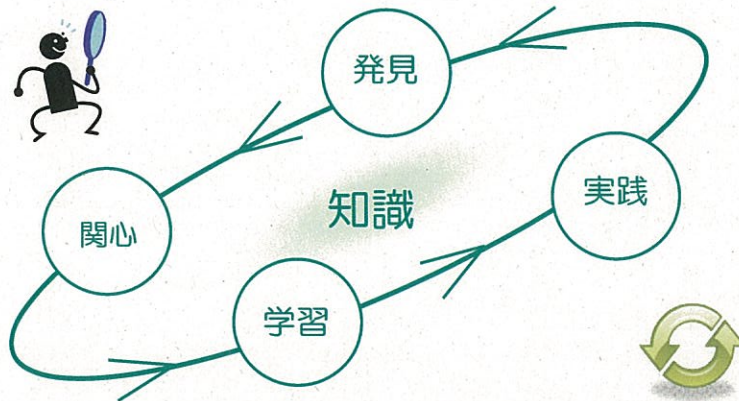
この問題解決のためには、私たち一人ひとりが、環境問題に対する正しい知識を習得及び問題解決に向けた能力を習得し、行動していくことが必要です。また、環境問題は、これまでの公害への対処や自然保護に留まらず、衣、食、住、歴史、文化などにも関係していることから、広範な知識を習得することが不可欠です。

そこで、津山圏域クリーンセンターでは、緑に囲まれた、憩いと潤いの感じられる東北の地球環境保全の総合センターを基本理念の下、環境問題の解決に向けた正しい知識の習得を支援し、もって世界的な要請である、持続可能な社会の構築に貢献するために必要とされる“人”の育成をコンセプトにした環境学習を提供します。

育成する人間像

持続可能な社会の構築に資する行動のサイクル

津山圏域クリーンセンターでの環境学習が育成する“人”は、環境問題の解決に向け、必要な取り組みを主体的に実施して行く必要があります。そのため、基本コンセプトに掲げた“人”の人物像は、国際社会やわが国における環境学習の目標を踏まえ、環境問題の解決に向けた正しい知識を基に、“発見”“関心”“学習”“実践”の行動のサイクルをし続ける“人”としました。



学習分野

行動のサイクルに必要な知識の習得に向けて

環境学習は、複雑かつ多岐に渡る環境問題をテーマにすることから、その学習分野も複雑かつ多岐に渡ります。その中から、環境学習が育成する人が起こす行動のサイクルに必要な知識の習得に必要な学習分野は、環境学習を実施する津山圏域及び津山圏域クリーンセンターの機能を考慮し、①自然体験分野、②資源循環分野としました。各分野における学習コンテンツは、次のとおりであり、「自然体験、観察を通じた環境学習」及び「ごみ問題を通じた暮らしの環境学習」を展開します。

【学習のねらい】

環境学習により育成する“人”が起こす行動のサイクルに必要な環境問題の現状や本質及び解決に向けた正しい知識の習得

自然環境分野

自然環境分野では、自然体験、観察を通じた環境学習をテーマに、津山圏域クリーンセンターの自然を活用した体感型学習を実施します。

【学習コンテンツ】

ビオトープ、里山樹木復元エリア、施設計画における自然環境配慮、津山圏域の自然環境 ほか

資源循環分野

資源循環分野では、ごみ問題を通じた暮らしの環境学習をテーマに、津山圏域クリーンセンター内外に及び多種・多彩な学習を実施します。

【学習コンテンツ】

展示コーナー、体験工房、リユースコーナー、環境啓発イベント、出前環境学習講座 ほか